

**【安芸太田町】**  
**第1回 道の駅再整備検討委員会**

**「道の駅来夢とごうち」の未来戦略**  
歴史的に見た「道の駅」とその機能の変遷

～観光・産業・福祉・医療・防災、小さな経済循環が生まれる地域の核～

2021年3月16日

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部

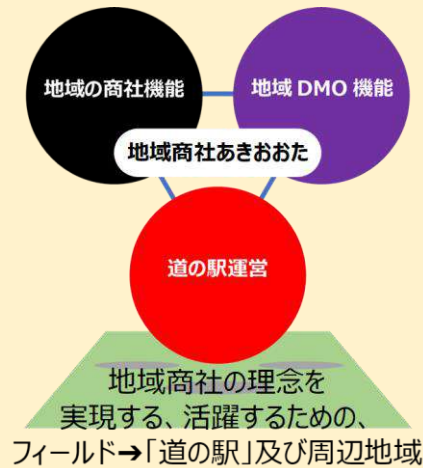
篠原 靖

## 安芸太田町「道の駅」再整備の経緯と今後の展開

プラン



オペレーション



平成30年度～  
「運営主体設置」  
地域商社あきおおた  
設立・立ち上げ

- ・地域ブランディング
- ・HP・Eコマース
- ・DMO候補法人

運営戦略構築

売上目標  
・事業計画

関係構築  
・生産者  
・事業者

アクションプラン

令和3年度

地域連携・市場拡大

戦略実践

産直事業拡大  
・生産者等と実践

物販事業拡大  
・出荷者等と実践

観光DMO定着  
・地域連携強化など

令和4年度～

本格展開

新生  
道の駅を  
拠点に  
展開

事業者実践会議

再整備委員会(専門家)、住民WG

## ○各会議体等の役割

### 安芸太田町長

- ・最終決定権者
- ⇒プロジェクトチームからの報告を受け、指示・最終ジャッジを行う

### プロジェクトチーム会議

- ・庁内部局＋地域商社で構成し、「観光・産業振興戦略」「道の駅来夢とごうち周辺施設再整備基本計画」に関する実質的な立案や協議・調整を行う場
- ・策定員会へのアドバイス、実務者会議からのアイデアを求めることができる

### 実務者会議

- ・プロジェクトチーム会議の依頼を受け、テーマに沿ったメンバーから、アイデア等の抽出を行う
- ・町内観光・産業施策(庁内)
- ・観光(道の駅を中心とした連携)
- ・産業(産品開発・PR)

## 策定委員会

- ・有識者や関係者の代表が集い、アドバイス・提言等を行う機関
- ・町(PTチーム)からの諮問を受け、答申を行う
- ⇒検討内容は「観光・産業振興戦略」「道の駅来夢とごうち周辺施設再整備基本計画」に関すること

### 企画課

- ・事務局機能を担い、会議体等の調整等を実施

### コンサルタント

- ・企画課(事務局)をサポート
- ⇒「観光・産業振興戦略」「道の駅来夢とごうち周辺施設再整備基本計画」の素案作成など

### 意見交換会

- ・町民との意見交換を実施

## ○「観光・産業振興戦略」のアウトプット

- ・ 町の観光・産業の目標（到達したい姿）を共有する
- ・ 観光・産業の振興に向けて、道の駅を介してできる施策・担当する体制を明確にする。  
（何をやらないといけないのか、ミッションを明らかにして、これに従って活動する）

### <戦略の構成案>

1. 策定の目的、計画の位置づけ
2. 現在の観光・産業の状況
3. 観光・産業の課題
4. 将来の目標（めざすべき姿）
5. 将来の目標を達成するための取組（施策）  
施策、主体、実施時期を設定

## 検討内容(アウトプット) ②

### ○「道の駅来夢とごうち周辺施設再整備基本計画」 のアウトプット

- 道の駅(及び周辺施設)に関する基本的な計画(基本設計の前段階)

#### <基本計画の構成案>

- ①計画条件等の整理
- ②利用者ニーズ等の整理
- ③施設整備コンセプトの検討
- ④導入機能の検討
- ⑤ゾーニング及び動線計画の検討
- ⑥施設計画の検討
- ⑦本施設の利活用による地域振興方策の検討
- ⑧概算事業費及び事業スケジュールの検討

#### ※事業手法に関する基礎調査

- ①想定される事業手法の抽出
  - ア. 事業範囲の検討
  - イ. 国等の動向調査
  - ウ. 実施手続きの整理
- ②道の駅における適用事例の調査

# 道の駅とみうら 枇杷倶楽部

～ 地域資源『房州びわ』を活用した地域活性化 ～



枇杷倶楽部  
BIWA KURABU

株式会社ちば南房総

枇杷倶楽部は、南房総富浦特産で大粒の『房州枇杷（びわ）』にちなみ、またたくさんの出会いのある『倶楽部』となる願いをこめて、旧富浦町（現南房総市）が1993年（平成5年）11月27日にオープンしました。

開設以来、「**産業と文化の振興拠点、情報発信基地**」となることを目指し、特産の・房州びわを活用した加工事業と商品開発、体験型観光農業と南房総の広域産業資源を活用した、新たな集客交流事業の創出を目指しました。商業や農業だけではなく、文化事業も展開しておりますが、たくさんの熱意に支えられ順調な経過をたどっています。

『枇杷倶楽部』という複合施設を、旧富浦町（現南房総市）と(株)とみうら（現株ちば南房総）という複合組織で運営しようとしたのも、人が自立し、個性を持ち、地域にかかわろうとしているように、枇杷倶楽部も自活し、文化性を持ち、地域に貢献していこうと念願したからです。



# 道の駅の設置数及び千葉県内の分布図



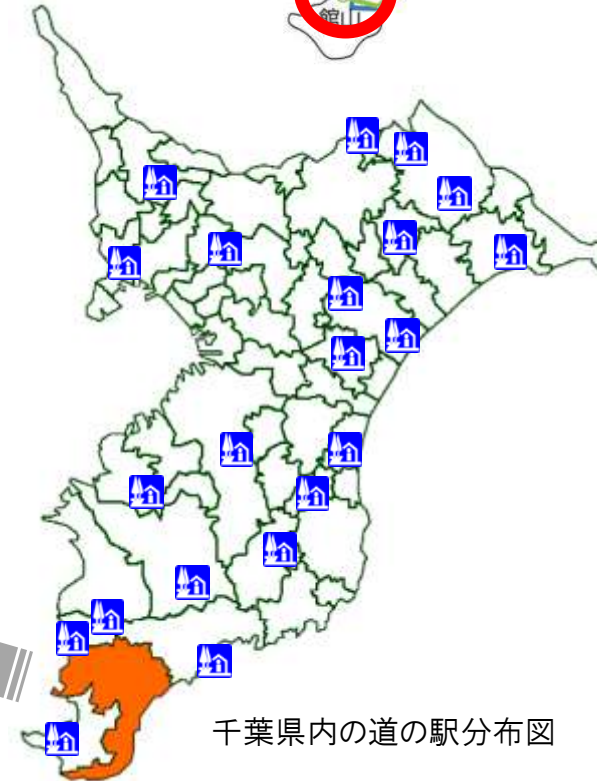
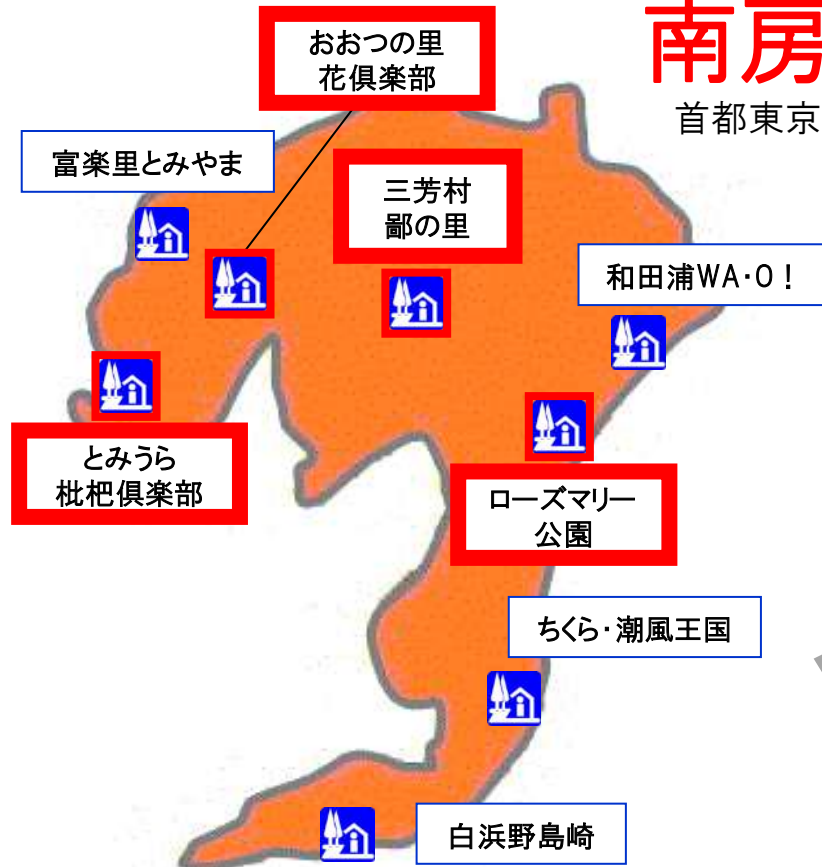
全国 1,145駅  
 千葉県 29駅  
 南房総市 8駅(市内設置数全国1位)  
 弊社(株)ちば南房総の運営施設 4駅(□ 太赤枠)  
 南房総地域 12駅  
 (近隣市町村3市1町 南房総市・館山市・鴨川市・鋸南町)

## 東京都



## 南房総市

首都東京から約100km



千葉県内の道の駅分布図



## 道の駅とみうら・枇杷倶楽部 施設紹介①



2月中旬～3月下旬の菜の花畑風景

# 道の駅とみうら・枇杷倶楽部 施設紹介②



花マルシェ (2016.11.26 open)



# 道の駅とみうら・枇杷倶楽部 施設紹介③



# 道の駅とみうら・枇杷倶楽部 体験紹介①

びわ狩り



花摘み



苺庭園(ガーデン)



フラワーアレンジ



## 道の駅とみうら・枇杷倶楽部 体験紹介②

太巻き寿司づくり



びわジャム作り



ウォッチング富浦・土曜学校



食用菜の花摘み



うちわ作り



ドライフラワーアレンジ



みかん狩り



びわ葉染め



貝殻ストラップ



## 枇杷倶楽部設立前の富浦町の特性と課題

### 設立前の富浦町の特性と産業構造

- 小さな町(面積25km<sup>2</sup>・人口5,700人)
- 温暖な気候、自然豊かな農山漁村
- 250年間の歴史を誇る『房州びわ産地』
- 昭和30・40年代 海水浴客で賑わう
- 平坦地が少なく丘陵地が多い
- 首都東京まで100km圏
- 国内でも有数の花卉産地

### 環境の変化

- 高速道路の整備が進む  
(アクアライン・館山道等)
- 過疎と高齢化で活力低下  
(若い人は都会へ)
- 海水浴客の減少  
(夏季民宿の発祥地)

### 課題

交流人口  
を増やす

農業の担い手  
の育成

新しい特産品  
の開発

# 課題解決の方向 ～ 地域の自発的で持続的な発展 ～

プロジェクトの目標 ➡ 地域の産業・文化の振興・情報の発信

活性化の方向	活動の方向
<ul style="list-style-type: none"> <li>① 交流人口を増やす（日帰り客の誘致）</li> <li>② 出荷規格外の『びわ』を活用して商品開発</li> <li>③ インターネットによる情報発信</li> <li>④ 地域資源・文化を見直して、住む人の誇りを</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① エコミューゼ（分散配置施設の統合運営理論） の手法による町全域の活性化</li> <li>② 活性化施設（枇杷倶楽部・花倶楽部等） の自活と、地域振興</li> <li>③ 産業と文化の情報化</li> <li>④ 雇用の拡大と新しい産業づくり</li> <li>⑤ 差別化できる商品開発</li> <li>⑥ 地域住民の憩いと学習・文化の場づくり</li> </ul>



## 地域資源“びわ”を活かしたオリジナル商品開発





# 地域資源“びわ”を活かしたオリジナル商品開発

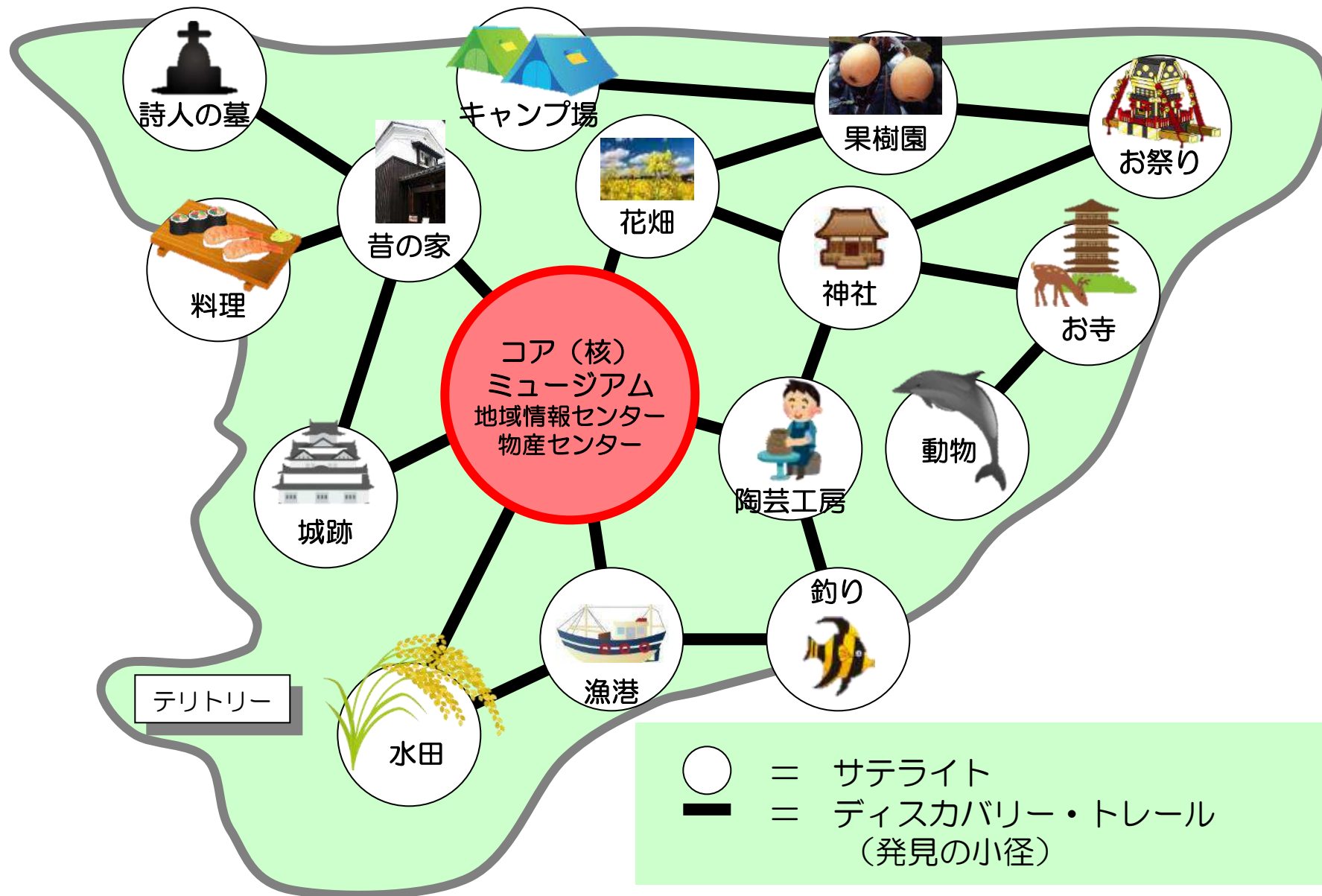


# オリジナル商品

食品 40種類 雑貨 10種類



# エコミュージアムの構想



# 「一括受発注システム」による「日帰りツアー」モデルの流れ

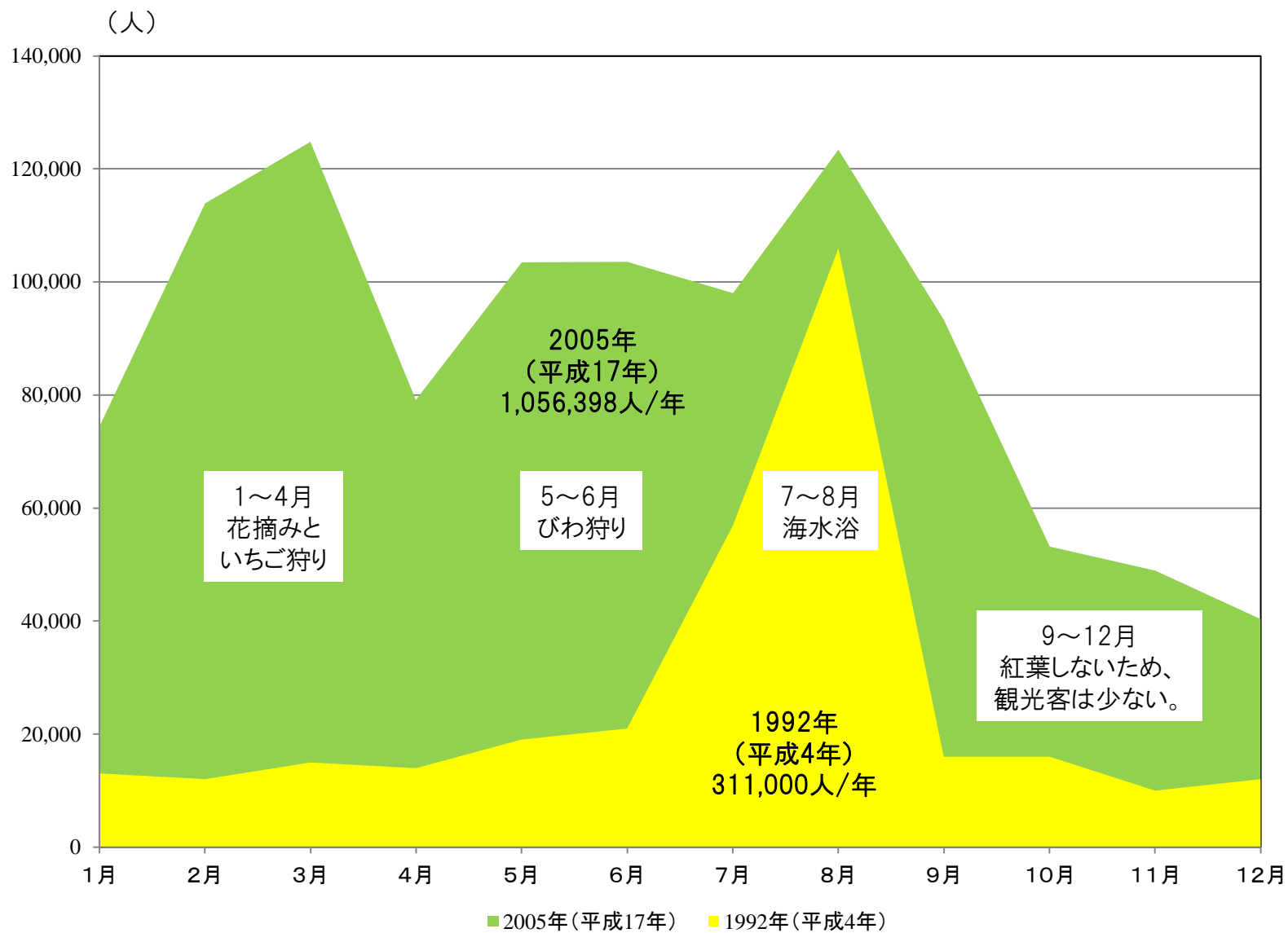
「エコミューゼ（分散配置施設の統合運営理論）」の手法による、地域をまるごと活用した観光客誘致を行った。世界遺産や特級の観光資源が無い富浦町（現南房総市）は、近隣の市町村も含めた小さな資源、農業体験（びわ狩り、苺狩り、花摘み等）や歴史、景観と食事を組み合わせパッケージ化し、一括で観光会社に販売、観光日帰りバスを誘致した。



※ 2017.9期 観光バス誘致実績 2,585台 82,922人

【メリット】

観光会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>●枇杷倶楽部から地域情報が一括で得られる。（富浦地域だけでなく、近隣の市町村も含めて。）</li> <li>●連絡が枇杷倶楽部だけですむ。 ●クレームを枇杷倶楽部で対応してくれる。 ●枇杷倶楽部で精算が一括処理できる。</li> </ul>
生産者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「観光PR」及び「営業」を枇杷倶楽部がしてくれる。</li> <li>●受入体制さえ整えば、すぐにでも枇杷倶楽部からお客様を入れることが可能。</li> <li>●めんどろな事務処理（請求書作成等）を枇杷倶楽部がしてくれる。</li> <li>●大口の団体バスを受入れ、効率の良い観光客が得られる。 ●不渡りの心配が無い。 ●売掛の回収が早い。</li> </ul>
枇杷倶楽部	<ul style="list-style-type: none"> <li>●精算を一括処理するため、枇杷倶楽部に立ち寄る。（精算中にトイレ休憩とお買い物。）</li> <li>●地域の生産者・参加施設からの手数料（3%～10%）が低く、採算は合わない。（観光事業は赤字）</li> </ul>



※ 2006年(平成18年)3月に市町村合併したため、2006年以降の富浦地区のデータ化は出来ない。

# 地方創生と道の駅 道の駅もてぎ



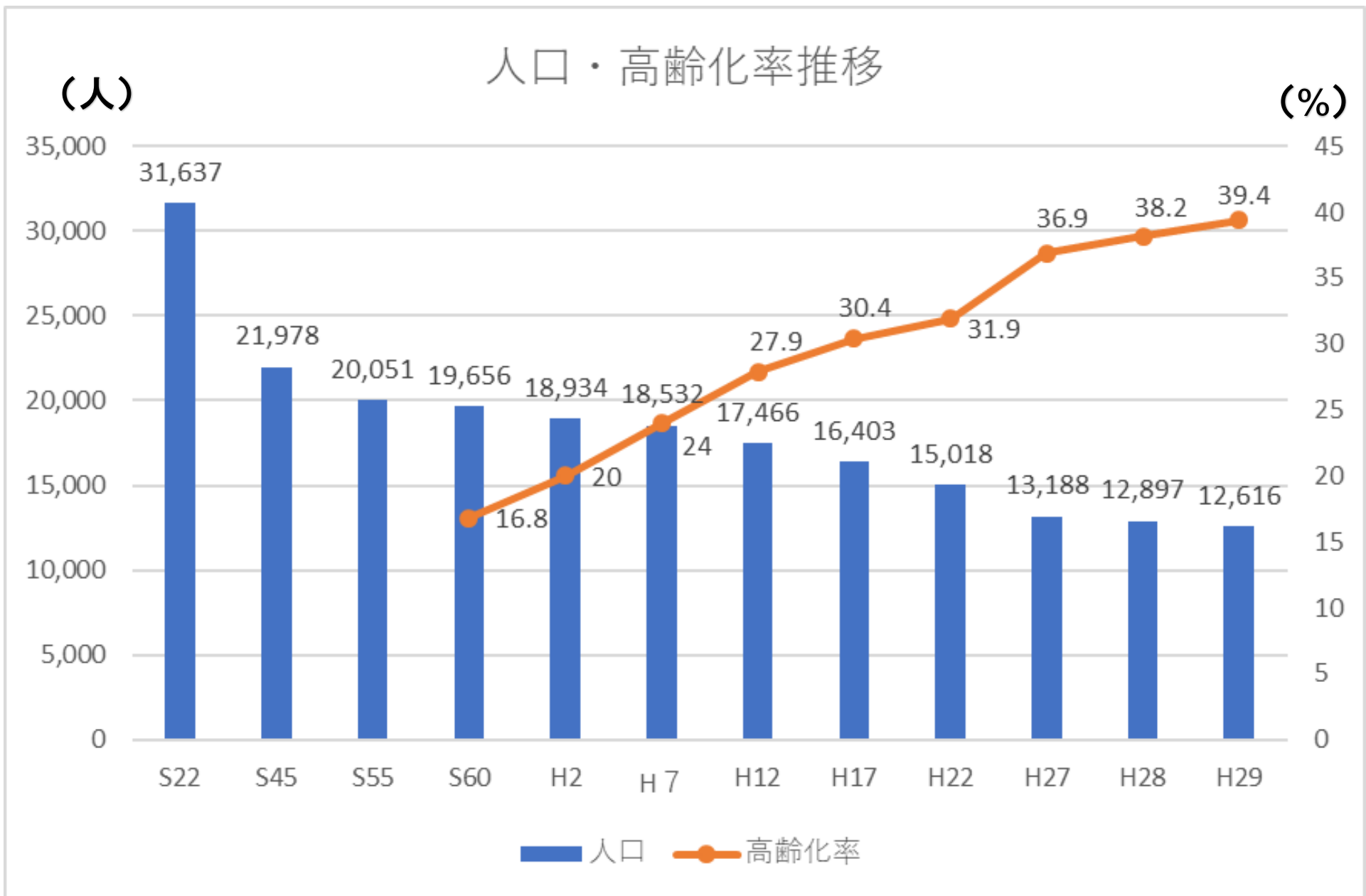
# 茂木町の概要



- 東京から100km
- 総面積＝約172km<sup>2</sup>
- 総面積の約7割を山林が占める典型的な中山間地域

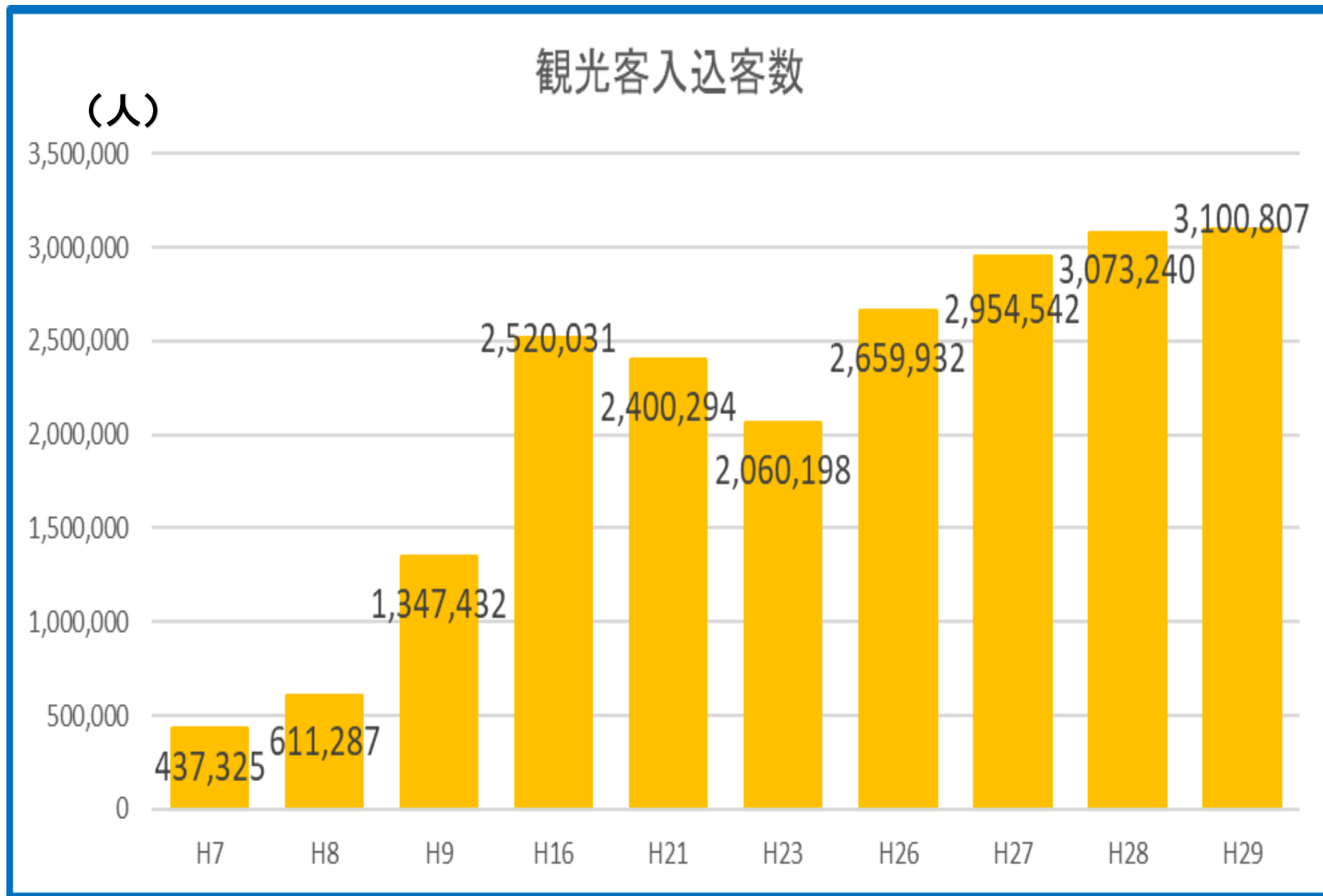


# 人口・高齢化率推移





# 観光客入込客数



# 茂木町の施設① ツインリンクもてぎ

(大型モータースポーツレクリエーション施設)



ツインリンクもてぎ 全景

# M o t o G P



# メガジップラインつばさ



## ツインリンクエンジェル



# 茂木町の施設② 堆肥センター「美土里館」



# 美土里館 円形発酵槽



## 美土里堆肥



1袋 (10kg) 500円

## 美土里竹粉



1袋 (1kg) 500円



## 茂木町の施設⑤ 大瀬観光やな



## やなの様子

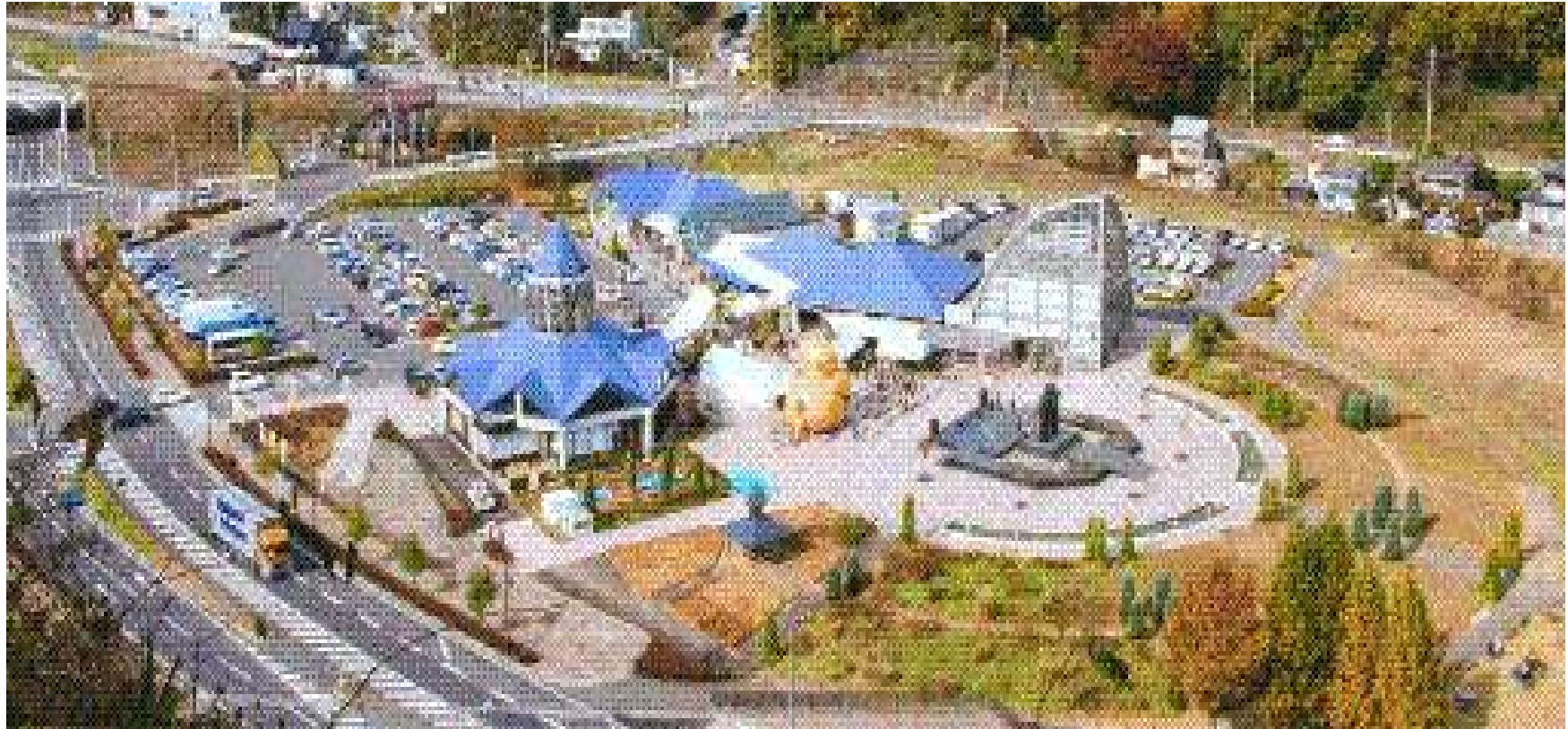


# 「やな」にあがるアユ



## 茂木町の施設⑥ 道の駅もてぎ





## 茂木町の特徴

- 【特徴 1】 中山間地域・・・約 70% が山林
- 【特徴 2】 人口減少・・・12,616 人（平成29年10月1日）  
⇒ 12,358 人（平成30年7月1日）
- 【特徴 3】 少子化・・・1年間に生まれる子供数 約 50 人
- 【特徴 4】 高齢化・・・高齢化率 39.4%（平成29年度）
- 【特徴 5】 耕作放棄地・・・502 ha
- 【特徴 6】 鳥獣害・・・イノシシ、ハクビシン  
被害額 5,692 千円  
イノシシ捕獲頭数 572 頭（平成29年度）
- 【特徴 7】 県都宇都宮市から車で 45 分
- 【特徴 8】 最寄りの高速道路インターチェンジから  
車で約 40 分（真岡・友部）

# 茂木町の地方創生戦略

キーワードは、

雇用

と

定住

# 雇用 = 企業

## 1. 既存企業の支援

- ① ジョブセンターの開設
- ② 利子補給
- ③ ジョイントイヴェント

## 2. 企業誘致

- ① 養鶏場
- ② ワイヤーマッシュ工場
- ③ ホテル

## 3. 行政が主体の起業

地方創生戦略



第三セクターもてぎ  
プラザ（道の駅）を  
重点的に強化し「稼  
ぐ」拠点とする





# 道の駅もてぎ（上空から）

面積4.1ha

駐車台数340台

（BP北側199台、BP南側141台）



# 【道の駅の数】

全 国 1,145

関 東 172

栃木県 24



- ①道路ユーザーの為の休憩所、案内所
- ②地場製品の売場
- ③雇用の場
- ④憩いの場
- ⑤観光拠点
- ⑥防災拠点
- ⑦研修・教育の場所
- ⑧六次産業の場

# 特徴

- ①行政職員を2名配置
- ②金融機関が株主
- ③指揮命令系統を一本化
- ④事務部門の充実

総務（5名）⇒社員の福利厚生  
数的分析  
観光案内

企画（3名）⇒イベント、デザイン  
情報誌

- ⑤六次産業化（手づくり工房）  
地場産品、手づくり  
無添加、少量多品目  
町特産品の活用（ゆず、ブルーベリー、  
いちご、えごまなど）
- ⑥NO1商品の開発  
おとめミルク（ジェラート）  
ゆず塩ら〜めん  
えごま油、えごま紅茶など
- ⑦再投資（3年に一度のリニューアル）



⑧他分野への挑戦

洋菓子製造、農業（いちご農園）

⑨おもちゃ箱

（ゴチャゴチャしておもしろい）

避難所、遊具、イベント、SL

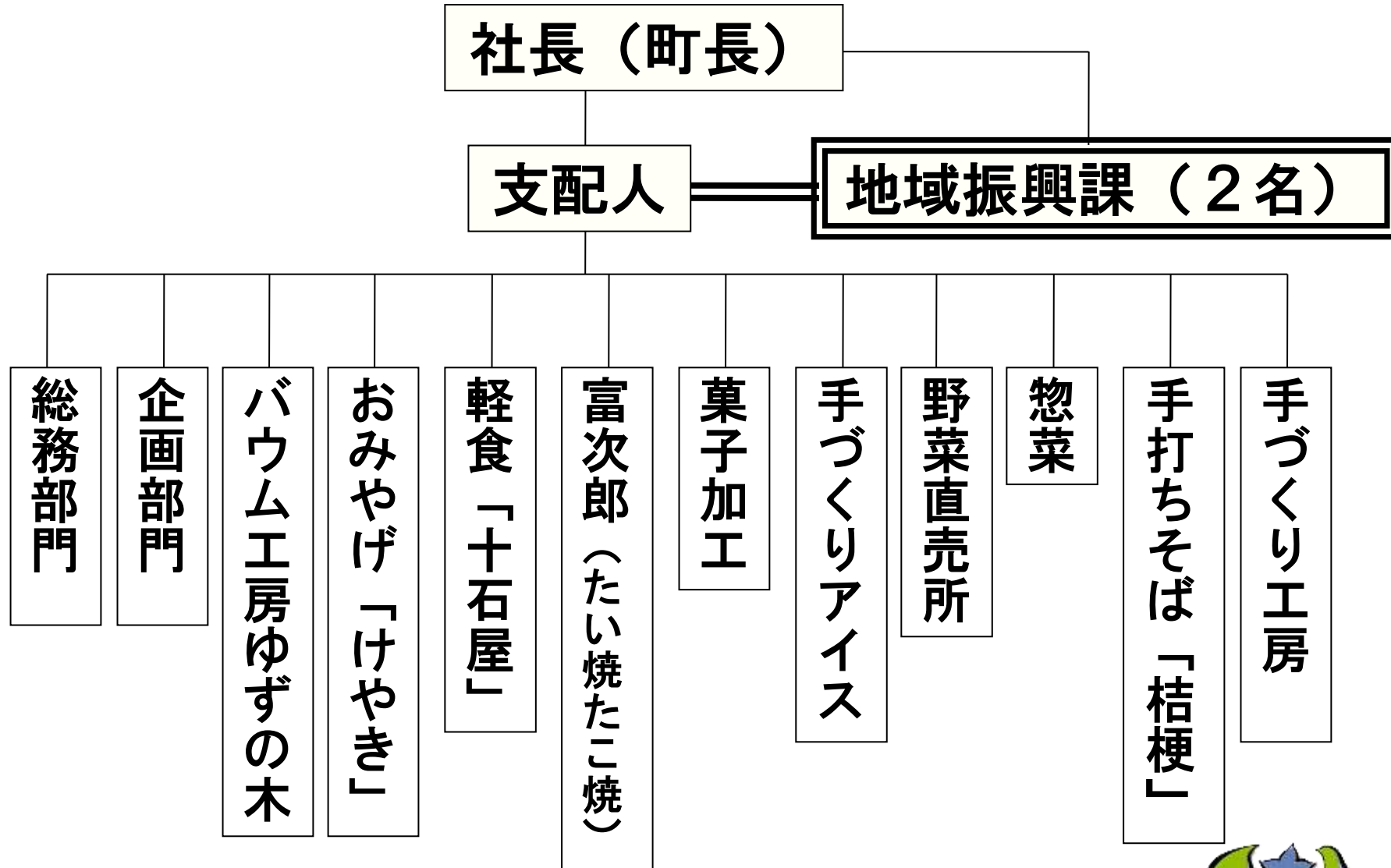
⑩企業化

村の直売所ではない

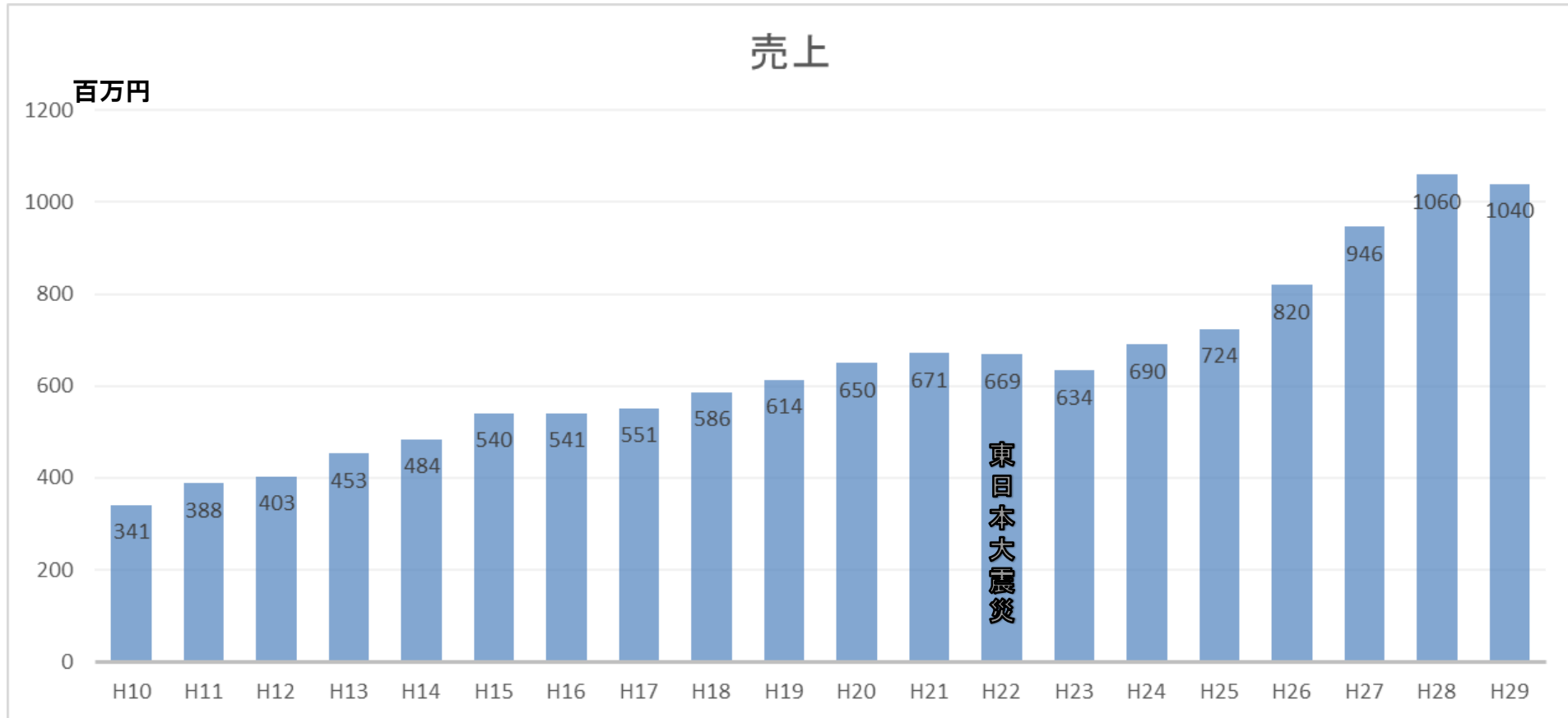
⑪トイレ

きれいなトイレに人が集まる

# 組織



# 道の駅もてぎ売上推移





# おみやげやき（櫛） 商業者中心













TOCHIOTOME CHIFFON CAKE  
**とちおとめ**  
シフォンケーキ

とちぎの道の駅

JA産直とちぎ産直  
栃木産「とちおとめ」  
100%使用

Being inspired by the refreshing breeze, I am  
emphasizing counterbalance heating in nature. I will get lost  
together with some nice eggs!

TOCHIOTOME CHIFFON CAKE  
**とちおとめ**  
シフォンケーキ

とちぎの道の駅

JA産直とちぎ産直  
栃木産「とちおとめ」  
100%使用

栃木県産の果  
県産商品

登録商標 第4323567号

栃木県産の果  
県産商品

厳選されたとちおとめを使用した  
風味豊かな饅頭です。  
上品な味をお楽しみください。

とちぎの道の駅

とちぎの道の駅

とちおとめ

とちおとめ使用











### 茂木町特産品加工所（手づくり工房）の概要

【目的】 六次産業化の拠点として、町の特産品であるゆず等を商品化し、道の駅もてぎオリジナル商品として販売することにより、町産業の振興を図る

【運営主体】 株もてぎプラザ（第3セクター）

【整備費用】 140,000千円（町による整備）

【運営開始】 平成24年5月

【年間売上】 約1,700万円（H24）、約3,300万円（H25）、約5,800万円（H26）  
約6,700万円（H27）、約7,500万円（H28）

【従業員】 9名（平成29年4月1日現在）

#### 4つのこだわり

- ①地場産品
- ②手づくり
- ③少量多品目
- ④無添加



戦前から町の基幹産業になっていた葉タバコ栽培が昭和40年代後半に衰退



【生産】 「道の駅」が農家から柚子等を全量買取



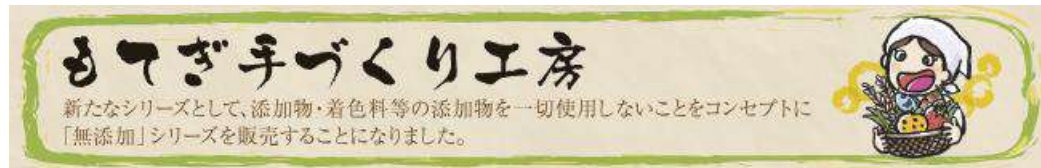
【加工】 「もてぎ手づくり工房」において手作業で加工



【販売】 「道の駅」において、オリジナル商品として販売



もてぎ手づくり工房の外観



# もてぎ手づくり工房で製造している商品の一例



# えごま油



# えごま紅茶



# 雑誌コーナー



# 富次郎（たい焼たこ焼）









# 手づくりアイスクリーム (おとめミルク)



# 手づくりアイスクリーム店舗内全景



# おとめミルク



# 十石屋 ラーメン専門店



# ゆず塩ら〜めん





# 野菜直売所









# レストラン桔梗



# レストラン桔梗店舗内全景



# バウム工房ゆずの木



# バウム工房ゆずの木店内





パウム工房ゆずの木



# カフェスペース





# バウム工房ゆずの木 商品例



詰め合わせは、茂木の豊かな自然をうつした  
美味しさのメッセージです。  
どうぞ、お楽しみください。

バウムギフト 2,600円





もてぎ  
2016年お中元 もてぎふるさとギフト  
もてぎの夏ギフト  
もてぎならではの、美味しくて体に優しい贈り物  
お申込み受付期間  
6月15日~8月16日

お申込み書記入スペース

お申込み書記入スペース

「もてぎさかべクラブ」会員限定  
ポイント5倍キャンペーン

送料別  
通常価格... 500円  
クール便... 700円

「もてぎ」お申込み期間

6月15日~8月16日

道の駅まで、夏のギフトアタマログ



# 茂木町防災館

平成25年4月供用開始



# 茂木町防災館 1 F



# 茂木町防災館 2 F (備蓄倉庫)



# 茂木町防災館 1 F



# 遊具





# 遊具



# 子どもプール





# イベント広場 すきだっぺ像と石舞台



製作：流 政之  MOTEGI





# イベント時の写真

# 外売り状況



# 吹奏楽の夕べ





# 道の駅もてぎ花火大会



# キャンドルナイト



# 福祉健康エコ祭り



## 最後に・・・



こうした一連の地域活性化に顕著に成功している先駆的な道の駅を「地域活性化の拠点」を形成する「全国モデル道の駅」として選定し全国の「道の駅」の機能の底上げ強化を図る新たな仕掛を開始しています。



道の駅とみうら枇杷倶楽部



道の駅川場田園プラザ



道の駅もてぎ

ありがとうございました。